



(上)女の子が1度は憧れる、天蓋付きベッドに花柄のリネン。オーナーのセンスが生かされた、ロマンティックな「バラ園の部屋」。(左)ディナー(ドリンクやデザート含むコース€42)は基本的に20:30からだ、30分前に隣接するサロンやテラスでアペリティブのサービスも。



(上)静かな森を眺めながら入るプールも最高。サイドにはデッキチェアも完備。(下)いかにもフランスの田舎らしい1階のテラスには、テーブルが出されて、晴れた日には外で食事することができます。フレンチ・カントリーの、素材でくつろげる家のつくりが魅力。ほとんどのゲストがリピーターだというにもうなずける心休まる場所。



絵本の中に出てくるようなお城で至福の休日をお過ごし

Saint-Paterne 72610 Saint-Paterne, France
☎02 33 27 54 71
http://www.chateauxhotels.jp/
一般客室料金:€105~160
スイート客室:€150~210
※1月1日~3月20日 MAP/P.103
行き方:パリ モンバルナス駅からTGVで55分。
ル・マン駅で急行に乗り換えてアランソン駅まで30分。そこから2km。タクシーで€10程度。
タクシー Appell Alençonnais ☎06 30 12 80 87



のどかな自然とやさしい笑顔に出合える
心温まるチャーミングな城

Château de Saint-Paterne
シャトー・ドゥ・サン・パテルヌ

ノルマンディ地方とロワール地方の境にある古き街、アランソン。そのすぐ近くにあるシャトーは、荘厳な石づくりながら、とてもアットホームな雰囲気。友人の別荘に遊びにきたかのような感覚に陥る。そんな理想的な場所です。16世紀末、アンリ4世が愛人の隠れ家として使用していた建物は、ルネッサンス時代の趣が残るロマンティックな内装で、全8室の客室は、ひと部屋ずつのこだわりが。毎晩、サロンにはキャンドルが灯され、自家菜園で採れた新鮮な食材でつくった伝統料理が。少数のスタッフとフレンドリーなオーナー夫婦が家族のように歓迎してくれる。カンパニーならでは、旅の疲れも癒されます。レース織りで有名な旧市街へもぜひ足を延ばしたい。

宿泊客はみんな
家族のように迎えられ
アットホームな
雰囲気味わえる



1階のラウンジから中庭へ続く扉で、愛犬ギャスパーがひと休み。そして驚くのは、ホテルの目の前に広がる緑豊かな森の景色。最上階の部屋からの眺めも絶景だけれど、1階のテラスやプールから垣間見る風景も印象的。敷地は広いのに、どこにいても安らぎを感じるの、やはり個人の別荘だったせいも。森に囲まれ、読書三昧なんていかが。



オーナーのシャルル・アンリ氏親子が笑顔で挨拶。滞在中の楽しみ方や、必要なときにはだれもが親身に相談のってくれる。バラ園をはじめ、庭園も畑もすべて細部まで手が行き届いている。市街地から少し奥まっただけで、ざわめきから解放され、とても静かで気持ちのよい環境。木々や花に囲まれて、まるで森の中で暮らしているような気分。

伝統的なレース織りで有名な市街地へ足を運ぶ

Musée des Beaux-Arts et de la Dentelle

ミューゼ・デ・ボーザール・エ・ドゥ・ラ・ドントル
実際の「レース織り」を見学できる美術館
17世紀から伝わるレース織り。職人になるには、10年の研修が必要といわれています。現在、レースをつくることのできる職人は、わずか9名。月、水、金曜の14:30~16:30の時間帯には彼女たちの実演を見学できます。

Cour Carée de la Dentelle 61000 Alençon
☎02 33 32 40 07
※10:00~12:00、14:00~18:00
※月曜日、元旦、5月1日、12月25日
入場料:大人€3.05、18歳以下無料



Auguste
オーギュスト

部屋に飾りたいほど繊細なレースが見つかる
草花が飾られた可愛らしい外観の店は、アランソンで最も古いレース屋のひとつ。シンプルなものから凝ったデザインまで種類の多さに感嘆。アランソン特有の針織みのレースは、必見。

14 pl. Halle au Blé 61000 Alençon
☎02 33 26 54 68
※10:00~20:00(日曜~13:00)
不定休